



# 学校だより

## 教育目標

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく

◆花と歌と笑顔あふれる学校◆  
■発行日 平成29年8月29日  
■発行 さいたま市立栄和小学校  
さいたま市桜区栄和1-7-1  
HP <http://sakawa-e.saitama-city.ed.jp/>  
Tel 048-853-4022

「この夏読んだ本から」

校長 濱崎 泰行

『夜と霧』をこの夏読みました。第2次世界大戦中の強制収容所での筆者(ビクター・E・フランクル)の実話です。強制収容所で絶えずガス室に送られる恐怖に襲われながら、九死に一生を得て終戦を迎えた筆者。一方で、力尽きて収容所で死んでいった多くの人もいることは周知の事実です。この本はその違いは何かを考えさせてくれました。人の生死を分けたのは何か。それは、体の頑強さではなかったと筆者は述べています。フランクルは、「強制収容所から必ず出られる。そして、妻子に必ず会える」「戦争が終わったら、やりかけていた仕事を完成させよう」と、収容所の日常では実現不可能と思える希望を持ち続けたのです。どんな状況におかれても自分の人生の中に生きる希望を見出せることで生きていく勇気が得られるのだと改めて実感させられました。

さて、2学期の始業式を迎えるこの前後は、児童生徒の気持ちが不安定になり、大事にいたる案件が発生しやすい時期でもあります。本校では「栄和小学校いじめ防止基本方針」に基づき、1学期に5,6年生を対象に「いのちの支え合い」を学ぶ授業等を実施しております。また、10月には児童との個別相談を全学年で実施する予定です。ご家庭でも以下のことを参考にお子さんの発達段階に合わせてお話ししていただければ幸いです。

- 誰にでも悩みや不安があること
- 悩みや不安を他の人に話すことは、恥ずかしいことではないこと
- 友人から相談を受けたときには、親身になって相談にのること
- 深刻な悩みを相談されたときは信頼できる大人につなぐこと

学校では、児童一人ひとりが常に希望をもって学校生活を送れるよう児童に寄り添って参ります。また、児童一人ひとりの話に耳を傾けてまいります。ご家庭でもお子さんの変化を見逃さないようお願いいたします。何か気がかりなことがありましたら担任までお知らせください。

